



| | | |
|--|---------------|--|
| | 旅館・ホテル | 全国旅行支援の延長、NHK朝ドラ「らんまん」公開、隣県での海外航空便の発着再開など業界にとり追い風になる要素があり、7月中旬頃までの見通しに期待を持てる状況である。一方、人手不足・原価上昇の課題は残されたままである。 |
|--|---------------|--|

| | | |
|--|------------------|---|
| | 食品団地 | 3月度は、やや好転、県内外共に順調な商況。販売価格も値上転換が進んでいる。収益状況では、原材料等の値上がりが続いており、値上げでは追い付かない状況で厳しいものがある。新型コロナウイルスの影響が少なくなってきた。 |
| | 酒類製造 | 市場の活性化は感じられるが、出荷数量は微増に留まる。行楽、観光シーズンへの対応を実感している。土佐酒の多様性、最上クラスの品質をアピールできるか。新型コロナウイルスにより、土佐の酒文化や血鉢料理、返杯、献杯の自粛などの影響がみられる。 |
| | コンクリート製品 | 前年同月比111.48%と年度末にやや好転となった。引き続き令和5年度も期待したいところである。 |
| | 生鮮魚介卸売 | 売り上げは伸びてきているが、仕入価格の上昇により利益にはあまりつながらない。カツオの入荷が順調になれば期待できる。 |
| | 各種小売(土佐市) | 3月でも月末にかけて少しずつ人が動きだした感じに思えるが、まだまだ人の戻りは少なく、厳しい状況は続いている。 |
| | 商店街(四万十市) | コロナ感染者減少傾向になり「5類へ移行」の発表を受け、春のイベント再開に向けて組織会があわただしく動き始めた。 |
| | クリーニング | 景気の回復により、需要(売上)は上昇傾向にあるが、エネルギー価格の上昇、資材価格の上昇は続いている。物価の相次ぐ上昇により、顧客マインドが冷めないかが気になり、廃業、不採算店舗の整理も進んでいる。リモートワークでワイシャツの着用機会の減少、宴会需要減少、家族葬移行で礼服需要減少など新型コロナウイルスの影響がある。 |

| | | |
|--|------------------|---|
| | テントシート | 帆布製品の値上げが、やっと販売価格への転嫁が出来そうな感がある中で、電気料金を始め諸材料費の相次ぐ高騰で大変な状況が長引きそうである。新型コロナウイルスの影響について、イベント関連事業も少しずつ回復基調になりつつあるが、まだまだ厳しい状況である。 |
| | 木製品素材生産 | 丸太価格は先月からは横ばい状態が続いている。原木入荷量も年度末を迎え国有林材は減少したが民有林材が増えたため、先月同程度の出材となり横ばい状態。新型コロナウイルスの影響は特段無し。 |
| | 製材 | 全般的に荷動きは低調であるとの声が多かった。 |
| | 製紙(家庭紙) | 人流・インバウンド回復の影響を受け、物の動きが活発になる。製品への価格転嫁もある程度進んで今後に期待する一方、物価上昇に依る“買い控え”が心配。(家庭紙) |
| | 製紙(手すき和紙) | コロナ禍も終息しつつあり、少しずつ状況も良くなっているように思えるが、この業界的にはまだまだ、鈍い状態が続いている。新型コロナウイルスの影響で、売上の伸びが鈍い状態が続いており、今後、原材料の高騰がいつまで続くのか見当がつかない。 |
| | 刃物製造 | 前半受注が少なく、低迷していたが、中盤よりなんとか持ち直し、ほぼ前年並みとなった。原材料の入荷が遅れ、製造に支障が出ているところもあるようだ。4月より光熱費の値上、また原材料の値上がりが取り出されている中、中小・零細企業はより厳しくなるのが心配。 |
| | 船舶製造 | 3月末納期製品が複数あったため、3月度の売上は増加した。生産状況は引き続き高水準である。製品やサービスの価格改定が必要となってきた。 |

| | | |
|--|-----------------|---|
| | 珊瑚装飾品製造 | 3月の取引額は前年同月比128%となり、先月に続き前年を上回ったが、コロナ禍以前の水準までの回復には至っていない。 |
| | 卸団地 | ・2月中旬以降は、観光、外食の動きが戻ってきたと感じられる。特に3月中旬以降は良くなってきた。・景気悪化に加え、電気代、ガソリン代、原材料が高騰し、経営に大きく影響している。新型コロナウイルスの影響で販売額や販売量の低下が見られ、今後もますます厳しくなると思われる。 |
| | 中古自動車小売 | 市場相場もやや落ち着いた様子で、仕入しやすい環境に戻つつあるが、業界全体のタマ不足による在庫確保に苦戦している。販売台数は一昨年同等の数字が出ており、これからの流通量の増加を期待している。 |
| | 商店街(高知市) | 中央公園地下駐車場 売上前年比:112.4%、利用台数前年比:105.80%。週末はかなり人出が多くなったようである。3月にはクルーズ船入港が7隻。それ以外でも外国人観光客を数多く見かけるようになった。 |
| | 旅行業 | 組合クーポン前年同月対比5倍、全旅クーポン加味後の売上対比6倍。令和元年度同月比較(総合計)98%まで回復。公的資金援助がなくなる令和5年度は、旅行業界にとって正念場である。春の旅行シーズンに入り、3年ぶりに募集旅行を実施した組合員、高知県の支援を得た「らんまん日帰り県内ツアー」販売もますます順調である。 |
| | IT事業 | 年度末の駆け込み需要が例年に比べ少なかったように感じる。コロナの制限もなくなり、今年度の投資に備えているのか動向をもう少し見守る必要がある。 |

| | | |
|------------------|--|--|
| | 建具 | 年度末の公共工事が少なかった。 |
| | 印刷 | 売上は昨年同等、操業度は低下。2月度が好調だった分当月が割を食った感。県議選の影響もあり官公需が特に低調だった。民需及び県外需要も余り良くなく例年3月の需要期としては期待外れだった。用紙等原材料の高騰が響き、価格改訂も努力しているが収益を圧迫している。 |
| | 生コンクリート製造 | 3月単月の出荷数量は、対前年比93.8%、4月からの累計は82.9%であった。令和4年度の当初の需要想定では78万m ³ であったが、67.5万m ³ と大きく減少した。また、高知市内の販売価格が低水準で推移しており、今後の課題と考える。 |
| | 機械団地 | 売上高は例年並みに回復するも、原材料や電力料金の高騰の影響により収益が悪化している事業所がある。団地内の業況は横ばいで推移している。 |
| | 青果卸売 | 前年同期比100%以上は12社中3社。入荷量及びキロ単価の前年比は、野菜:97%・96%、果実:117%・75%となっている。取引先であるスーパー、食品業界の青果物の販売実績の前年比は約5%減。飲食業界からの引合もコロナからの回復には少し時間がかかりそう。 |
| | 電気機械器具小売 | 3月度は、全商品平均で92.8%。テレビは、前年比82%、冷蔵庫は前年比96%、ドラム式洗濯機は、好調で前年比106%であった。 |
| | ガソリンスタンド | 原油価格は一時期に比べて下がってきているが政府の補助金は3月末現在で8円10銭残っている。この補助金が0になるまでは、原油が上がれば補助金も上がり、下がれば補助金も下がるを繰り返して、販売価格の変動には至らないままを推移している。新型コロナウイルスの影響は少ないと思うが、国内の団体客の移動がまだまだ少ないようである。 |
| | 商店街(安芸市) | 3月26日(日)に「高校生マルシェ」を実施。2回目となる今回は、すまいるあきの空きスペースを利用し、バザーやキッチンカーの出店など、地元高校生が中心になって企画・運営を行った。 |
| | 飲食店 | 前年同月比から売り上げは2割弱増えているが、光熱費や仕入れ価格が高騰しているため収益は悪化、波動的な原材料の値上げに価格転嫁が追い付いていない。コロナ禍以前の同月との売り上げの比較では9割程度。売上高はコロナ禍以前の9割程度まで戻ったが、そもそも原材料などの高騰に合わせて販売価格自体が上がっており、集客はまだ少なく収益状況は厳しい。新型コロナウイルスの影響で、集客減、売り上げの低下が続いている。 |
| | 一般土木建築工事 | 令和5年3月分の公共土木用生コン出荷量は、前月比88.7%、前年同月比93.8%。令和4年4月から令和5年3月累計においては前年累計対比82.9%。3月の工事請負金額は前年当月比で99.3%、前年対比累計金額では89.5%。令和5年3月末時点の前年対比累計請負金額は、国:97.4%、高知県:同累計82.7%、市町村:同累計92.0%となっている。生コン出荷量、工事請負金額共に累計では落ち込んでいるが、災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続している。生コンクリート単価については、引き続き値上げ交渉を行うことと共販率上昇に向けた取り組みを当組合としてもできることを行っていく。セメント会社の値上げ攻勢強力で4月より本格化。諸物価、経費増もあり、生コン価格においても4月には高知市を除く全県下でm ³ 当たり2千円値上がりとなった。昨年4月に続く引き上げで、高知市のみ4月引き上げのみで3千円、その他の地域は合計でm ³ 当たり4千円の値上がりとなったが、今後も値上げ傾向は続くものと考えられる。生コンの値上げ及び共販率の引き上げに苦慮している。 |
| 電気工事 | 組合員の施工する電力引込線工事は、前年比82.5%となった。香長地区は伸びたものの、高知中央地区がほぼ半減した。 | |
| 一般貨物自動車運送 | 年度末になっても物量は回復しきったとは言えず、組合事業も昨年度を若干下回った。燃料も3月は1.5円の値上げとなり組合企業は経費増で厳しい年度末となった。新型コロナウイルスの影響で、荷動きが悪く売り上げが伸びておらず、今後、荷動きが戻らなければ収益が伸びず経営を圧迫すると思われる。 | |

| | | |
|--|-------------|---|
| | タクシー | 実働1日1車当りの前年同月比営業収入:154.8%、輸送回数:138.8%、実働率は51.2%。外国の客船クルーズが高知に寄港回数が増え、港から要請があるが、運転者不足で思うように配車できないのが残念と聞いている。 |
|--|-------------|---|